淀川水系流域委員会
第 84 回委員会（H21. 3. 16）
審議資料－1

淀川水系流域委員会
第 84 回委員会　審議資料－1

進捗点検の視点・指標と基礎案施策との関連表

平成 21 年 3 月 16 日

委員会作業検討会

表　進捗点検の視点・指標と基礎案施策との関連表

視点（大項目）	視点(小項目)	指　　標	具体的な点検対象 ○明朝文字･･･河川管理者の提案事項 **●ゴシック文字(太)･･･流域委員会の提案項目** (※各指標への配置は流域委員会によるもの)	進捗点検の頻度	節	5.1河川整備計画策定・推進		5.2河川環境																		
					項	5.1.1河川整備計画の進捗を検し点検見直しを行うための措置	5.1.2情報の共有と公開、学識経験者、住民との連携・協働、自治体・関係省庁との連携	5.2.1河川形状				5.2.2水位	5.2.3水量			5.2.4水質						5.2.5土砂		5.2.6生態系	5.2.7景観		5.2.8生物の生息・生育環境に配慮した工事の施工
					中項目（h17年度点検時）		1．河川レンジャー	2．自治体との連携	1．河川環境のモニタリングの実施と評価	2．河川形状の環境事業（横断方向の修復）	3．河川形状の環境事業（縦断方向の修復）	4．陸域との連続性の確保と河川環境事業（湖と河川や修復）	5．河川環境事業（水位操作の検討）	6．河川環境事業（水量操作ダム・堰の適正な運用を検討）	7．河川環境事業（河川環境上必要な水量検討）	8．急速な水位低下が生じないダム等の運用操作を実施	9．琵琶湖・淀川流域水質管理協議会（琵琶湖・淀川流域水質管理案）の検討	10．琵琶湖における機能把握の調査や試験施工について検討	11．湖棚・湖岸堤積物の底層水質及び有機物の状況の把握のための調査	12．水質保全対策（既設ダム）	13．水質保全対策（淀川流域水路）	14．河川の汽水域、河川の水質保全対策（淀川汽水域、港水域）	15．土砂管理（既設ダム）	16．土砂移動の連続性の確保（砂防施設）	17．生育環境の保全・河川環境事業（生育環境）	18．周辺環境との調和に関する検討、河川景観の観点から助言	19．景観対策（既設ダム）	20．河川環境に配慮した工事の施工（生物の環境に配慮した工事の施工）
（1）環境の視点・川と湖沼の自然再生（竹門・西野）	視点1：ダイナミズムの確保による適度な攪乱の再生	指標1-1 地形変化を促す方向へ進んでいるか(S,I) ・横断測量による地形変化量を用いた尺度化 ・ダイナミズムの確保に役立つ河川の敷地の増加量を表示する ・堆積場面積増加量(航空写真による簡易計測)の尺度化 ・年間土砂供給量の尺度化	○ワンド・たまり・干潟の整備(モニタリング調査) ○河岸の切り下げ(モニタリング調査) ○ヨシ原の切り下げ(モニタリング調査) **●横断測量の経年変化量呈示** **●引き堤などの河川敷地面積の変化量呈示** **●河川に流入する土砂崩壊箇所の集計量呈示** **●置き土量，掘削量ならび流出量の呈示**	データは毎年整理公表し，分析と評価は5年ごと				竹	竹	竹	竹		竹	竹								竹	西竹	西竹	竹		竹
		指標1-2　流況・位況(流量・水位の変動様式)は健全か(S,I) ・流況・位況のピーク値の尺度化 ・流況・位況の変動係数の尺度化 ・流況・位況のピーク時期の尺度化	○淀川大堰試行操作実施状況 ○洗堰試行操作実施状況 ○既設ダムにおける弾力的管理試験状況 ○代表地点における流況検討状況 **●井堰の運用状況の呈示**	毎年点検					竹				西竹	西竹	西竹	西竹							竹		竹			
		指標1-3　目標とする規模の攪乱が生じているか(S,I) ・適度な攪乱の目標設定 ・重点モニタリング地点における冠水頻度の尺度化	**●環境計画における攪乱目標の呈示** **●モニタリング地点の冠水頻度の変化量呈示**	目標の設定，データ取得，分析，評価はそれぞれ年次をずらして5年ごとに実施					竹	竹	竹	竹	西竹	西竹	西竹	西竹							竹	竹	西竹			
	視点2：河川・湖沼の連続性の確保	指標2-1　内湾-汽水域-河川の連続性が確保されているか(S,I) ・内湾-汽水域-河川を回遊する魚介類の種数、個体数の尺度化 ・内湾-汽水域-河川の塩分濃度勾配の尺度化 ・内湾-汽水域-河川の河床底質勾配の尺度化	○堰・段差工改善箇所数、連続延長(モニタリング調査) ○ワンド・たまり・干潟の整備(モニタリング調査) ○淀川大堰試行操作実施状況	データは毎年整理公表し，分析と評価は5年ごと				竹	西竹		西竹										竹	竹	竹	西竹	西竹			西
		指標2-2　横断構造物(貯水ダム・砂防ダム・井堰など)による遮断対策(S,I) ・各横断構造物による連続性度合いの尺度化 ・各河川の全横断構造物に対する現状改善進捗度	○堰・段差工改善箇所数、連続延長(モニタリング調査) ○淀川大堰試行操作実施状況	データは毎年整理公表し，分析と評価は5年ごと				竹	西竹	西	西竹	西竹	西竹	西竹	西竹	西竹					た				西			西
		指標2-3　本川ー支川間の連続性が確保されているか(S,I) ・現状評価地図の作成 ・連続性の好適度の尺度化 ・各河川の全支川に対する現状改善進捗度	○堰・段差工改善箇所数、連続延長(モニタリング調査)	データは毎年整理公表し，分析と評価は5年ごと			竹	竹	西竹	西	西竹	西竹	西	西竹	西竹	西竹									西			西竹
		指標2-4　河岸-陸域の連続性が確保されているか(S,I) ・岸沿い浅瀬の尺度化(浅瀬面積割合) ・河岸地形の尺度化(流路の蛇行度や岸際線長など) ・岸際環境の尺度化(人工護岸，自然岩盤，裸地砂州，草本植生，樹林) ・一時的水域の尺度化(ワンド・タマリ個数や面積)	○三川合流部交流拠点の整備状況 ○緩傾斜堤防、高規格堤防の整備地区、延長 ○ワンド、たまりの整備 ○河岸の切り下げ(モニタリング調査) ○ヨシ原の切り下げ(モニタリング調査) ○堰・段差工改善箇所数、連続延長(モニタリング調査)	データは毎年整理公表し，分析と評価は5年ごと				竹	竹		竹	竹	竹	竹	竹					竹	竹		竹	竹	竹	竹		竹
		指標2-5　琵琶湖-内湖・流入河川間の連続性が確保されているか(S,I) ・琵琶湖-内湖を回遊する魚類の各類型の種数、個体数の尺度化	**●現状把握と尺度化の検討段階**	データは毎年整理公表し，分析と評価は5年ごと					西竹	西	西	西竹	竹		竹											西竹			西竹
		指標2-6　湖岸-湖棚-湖棚崖-湖底斜面の連続性が確保されているか(S,I) ・全湖岸線に対する人工湖岸の割合、人工湖岸の類型化による評価	**●現状把握と尺度化の検討段階**	データは毎年整理公表し，分析と評価は5年ごと					西	西竹			西竹						西竹						西竹	竹	竹	西竹
	視点3：琵琶湖・淀川水系の固有性および歴史・文化の多様性の尊重	指標3-1　琵琶湖の固有性および歴史・文化の多様性の価値が保全されているか (S,I) ・琵琶湖固有種の生息種数、個体数の尺度化(RDBのカテゴリー別など)	○南湖の再生プロジェクト連携状況 ○セタシジミの確認数(モニタリング調査)	データは毎年整理公表し，分析と評価は5年ごと			竹	竹	西竹	西竹	西竹	西竹	西竹	西竹	西竹	西竹	竹	西竹	西竹						西竹	西竹	西竹	西竹
		指標3-2　氾濫原環境の特性および歴史・文化の多様性の価値が保全されているか(S,I) ・氾濫原植物の生育種数、株数の尺度化 ・氾濫原利用魚類の生育種数、個体数の尺度化	○ワンド、たまりの整備	データは毎年整理公表し，分析と評価は5年ごと			竹	竹	西竹	西竹			西竹	西竹	西竹	西竹									西竹	西竹	西竹	西竹
	視点4：生物多様性の保全	指標4-1　生態系・生物群集多様性の維持・回復に貢献しているか(S) ・保全すべき生態系・生物群集のリストアップ ・保全すべき生態系・生物群集の現状尺度化	○在来種保護のための啓発活動及び連携した取り組み状況	データは毎年整理公表し，分析と評価は5年ごと			川竹	竹	西竹	西竹	西竹	西竹	西竹	西竹	西竹	西竹									川西竹	川竹		西竹
		指標4-2　種多様性を損なわず維持・回復に貢献しているか(S) ・絶滅危惧種、希少種保全の現状の把握と保全手法の評価	○イタセンパラの確認数(モニタリング調査) ○在来種保護のための啓発活動及び連携した取り組み状況	データは毎年整理公表し，分析と評価は5年ごと					西竹	竹	竹	西竹	西竹	西竹	西竹	西竹									西竹			西竹
		指標4-3　遺伝的多様性を損なわず維持・回復に貢献しているか(S) ・遺伝的多様性保全の現状把握と保全手法の評価	**●保全対象種の遺伝的多様性を考慮したかどうかのチェック**	データは毎年整理公表し，分析と評価は5年ごと					西竹	竹	竹	竹													西竹			西竹
		指標4-4　生物多様性条約・ラムサール条約を遵守しているか(P) ・指針・ガイドラインに沿っているかどうかの尺度化 ・予防的アプローチを含む生物多様性の保全戦略策定	**●現状把握と尺度化の検討段階**	データは毎年整理公表し，分析と評価は5年ごと			竹	竹	西竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹				竹	竹	竹	竹	西竹	竹	竹	西竹
		指標4-5　外来種対策が効果的に実施されているか(S,P,I) ・外来種の現状把握と対策の必要箇所の選定ができているか ・駆除対策・予防的処置の実施をしているか ・外来種問題の啓発が十分に行なわれているか	**●現状把握と尺度化の検討段階**	データは毎年整理公表し，分析と評価は5年ごと			川竹	竹	西竹																川西竹			西竹

表　進捗点検の視点・指標と基礎案施策との関連表

視点（大項目）	視点(小項目)	指標	具体的な点検対象 ○明朝文字･･･河川管理者の提案事項 **●ゴシック文字(太)･･･流域委員会の提案項目** (※各指標への配置は流域委員会によるもの)	進捗点検の頻度	5.3治水・防災												5.4利水	5.5利用				5.6維持管理			5.7ダム						5.8関連施策
					5.3.1洪水							5.3.2高潮	5.3.3地震・津波					5.5.1水面	5.5.2河川敷	5.5.3舟運					5.7.1既設ダム	5.7.2各ダムの調査検討内容					5.8.1淀川河川公園
					1．治水事業〔洪水対策〕	2．治水事業〔高規格堤防事業〕	3．治水事業〔堤防補強〕	4．湖後期放流治水事業（堤防補強：琵琶湖放流影響区間）	5．治水事業（狭窄部上流の浸水対策）	6．治水事業（被害の軽減治水事業（琵琶湖沿岸の浸水）	7．治水事業〔一連区間整備〕	8．治水事業〔高潮対策〕	9．治水事業〔地震等総合的防災対策〕	10．耐震・治水事業〔河川管理施設の耐震対策〕	11．治水事業〔津波対策〕	12．治水事業〔土砂対策〕	1．利水事業	1．利用関係事業（水面）	2．利用関係事業（河川敷利用）	3．利用関係事業（舟運）	4．利用関係事業（漁業）	1．維持管理（河川管理施設の機能保持）	2．維持管理（許可工作物の管理）	3．維持管理（河川区域の管理）	1．ダム事業（既設ダム）	2．大戸川ダム建設事業	3．天ヶ瀬ダム再開発事業	4．川上ダム事業	5．丹生ダム建設事業	6．余野川ダム建設事業	1．関連施策（公園事業）
（1）環境の視点・川と湖沼の自然再生（竹門・西野）	視点1：ダイナミズムの確保による適度な攪乱の再生	指標1-1 地形変化を促す方向へ進んでいるか(S,I) ・横断測量による地形変化量を用いた尺度化 ・ダイナミズムの確保に役立つ河川の敷地の増加量を表示する ・堆積場面積増加量(航空写真による簡易計測)の尺度化 ・年間土砂供給量の尺度化	○ワンド・たまり・干潟の整備(モニタリング調査) ○河岸の切り下げ(モニタリング調査) ○ヨシ原の切り下げ(モニタリング調査) **●横断測量の経年変化呈示** **●引き堤などの河川敷地面積の変化量呈示** **●河川に流入する土砂崩壊箇所の集計量呈示** **●置き土量，掘削量ならび流出量の呈示**	データは毎年整理公表し，分析と評価は5年ごと	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	竹
		指標1-2　流況・位況(流量・水位の変動様式)は健全か(S,I) ・流況・位況のピーク値の尺度化 ・流況・位況の変動係数の尺度化 ・流況・位況のピーク時期の尺度化	○淀川大堰試行操作実施状況 ○洗堰試行操作実施状況 ○既設ダムにおける弾力的管理試験状況 ○代表地点における流況検討状況 **●井堰の運用状況の呈示**	毎年点検	綾竹	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾		竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	川	川	川	川	川	川	
		指標1-3　目標とする規模の攪乱が生じているか(S,I) ・適度な攪乱の目標設定 ・重点モニタリング地点における冠水頻度の尺度化	**●環境計画における撹乱目標の呈示** **●モニタリング地点の冠水頻度の変化量呈示**	目標の設定，データ取得，分析，評価はそれぞれ年次をずらして5年ごとに実施	綾竹	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	竹			竹		竹				川						竹
	視点2：河川・湖沼の連続性の確保	指標2-1　内湾-汽水域-河川の連続性が確保されているか(S,I) ・内湾-汽水域-河川を回遊する魚介類の種数、個体数の尺度化 ・内湾-汽水域-河川の塩分濃度勾配の尺度化 ・内湾-汽水域-河川の河床底質勾配の尺度化	○堰・段差工改善箇所数、連続延長(モニタリング調査) ○ワンド・たまり・干潟の整備(モニタリング調査) ○淀川大堰試行操作実施状況	データは毎年整理公表し，分析と評価は5年ごと	綾竹	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾竹	綾竹	綾竹	綾竹	竹	竹				竹										
		指標2-2　横断構造物(貯水ダム・砂防ダム・井堰など)による遮断対策(S,I) ・各横断構造物による連続性度合いの尺度化 ・各河川の全横断構造物に対する現状改善進捗度	○堰・段差工改善箇所数、連続延長(モニタリング調査) ○淀川大堰試行操作実施状況	データは毎年整理公表し，分析と評価は5年ごと	綾竹	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	竹	竹			竹				川	川	川	川	川	川	
		指標2-3　本川-支川間の連続性が確保されているか(S,I) ・現状評価地図の作成 ・連続性の好適度の尺度化 ・各河川の全支川に対する現状改善進捗度	○堰・段差工改善箇所数、連続延長(モニタリング調査)	データは毎年整理公表し，分析と評価は5年ごと	綾	綾	綾	綾	綾	綾竹	綾	綾	綾	綾	綾		竹				竹		竹								
		指標2-4　河岸-陸域の連続性が確保されているか(S,I) ・岸沿い浅瀬の尺度化(浅瀬面積割合) ・河岸地形の尺度化(流路の蛇行度や岸際線長など) ・岸際環境の尺度化(人工護岸，自然岩盤，裸地砂州，草本植生，樹林) ・一時的水域の尺度化(ワンド・タマリ個数や面積)	○三川合流部交流拠点の整備状況 ○緩傾斜堤防、高規格堤防の整備地区、延長 ○ワンド、たまりの整備 ○河岸の切り下げ(モニタリング調査) ○ヨシ原の切り下げ(モニタリング調査) ○堰・段差工改善箇所数、連続延長(モニタリング調査)	データは毎年整理公表し，分析と評価は5年ごと	綾竹	綾竹	綾竹	綾	綾竹	綾	綾竹	綾竹	綾竹	綾竹	綾竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹							竹
		指標2-5　琵琶湖-内湖・流入河川間の連続性が確保されているか(S,I) ・琵琶湖-内湖を回遊する魚類の各類型の種数、個体数の尺度化	**●現状把握と尺度化の検討段階**	データは毎年整理公表し，分析と評価は5年ごと	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾															
		指標2-6　湖岸-湖棚-湖棚崖-湖底斜面の連続性が確保されているか(S,I) ・全湖岸線に対する人工湖岸の割合、人工湖岸の類型化による評価	**●現状把握と尺度化の検討段階**	データは毎年整理公表し，分析と評価は5年ごと	綾竹	綾	綾竹	綾	綾	綾竹	綾	綾	綾	綾竹	綾				竹	竹	竹	竹	竹							竹
	視点3：琵琶湖・淀川水系の固有性および歴史・文化の多様性の尊重	指標3-1　琵琶湖の固有性および歴史・文化の多様性の価値が保全されているか (S,I) ・琵琶湖固有種の生息種数、個体数の尺度化(RDBのカテゴリー別など)	○南湖の再生プロジェクト連携状況 ○セタシジミの確認数(モニタリング調査)	データは毎年整理公表し，分析と評価は5年ごと	綾竹	綾	綾	綾	綾竹	綾竹	綾竹	綾	綾	綾	綾	竹	竹	川竹	川竹		川竹	竹	竹	竹							竹
		指標3-2　氾濫原環境の特性および歴史・文化の多様性の価値が保全されているか(S,I) ・氾濫原植物の生育種数、株数の尺度化 ・氾濫原利用魚類の生育種数、個体数の尺度化	○ワンド、たまりの整備	データは毎年整理公表し，分析と評価は5年ごと	綾竹	綾	綾	綾	綾竹	綾竹	綾竹	綾	綾	綾	綾		竹	川竹	川竹		川竹	竹	竹	竹	川						竹
	視点4：生物多様性の保全	指標4-1　生態系・生物群集多様性の維持・回復に貢献しているか(S) ・保全すべき生態系・生物群集のリストアップ ・保全すべき生態系・生物群集の現状尺度化	○在来種保護のための啓発活動及び連携した取り組み状況	データは毎年整理公表し，分析と評価は5年ごと	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾						川竹	竹	竹	竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	
		指標4-2　種多様性を損なわず維持・回復に貢献しているか(S) ・絶滅危惧種、希少種保全の現状の把握と保全手法の評価	○イタセンパラの確認数(モニタリング調査) ○在来種保護のための啓発活動及び連携した取り組み状況	データは毎年整理公表し，分析と評価は5年ごと	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾						川竹	竹	竹	竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	
		指標4-3　遺伝的多様性を損なわず維持・回復に貢献しているか(S) ・遺伝的多様性保全の現状把握と保全手法の評価	**●保全対象種の遺伝的多様性を考慮したかどうかのチェック**	データは毎年整理公表し，分析と評価は5年ごと	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾						川竹				川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	
		指標4-4　生物多様性条約・ラムサール条約を遵守しているか(P) ・指針・ガイドラインに沿っているかどうかの尺度化 ・予防的アプローチを含む生物多様性の保全戦略策定	**●現状把握と尺度化の検討段階**	データは毎年整理公表し，分析と評価は5年ごと	綾竹	綾	綾	綾	綾	綾竹	綾竹	綾	綾	綾	綾		竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	竹
		指標4-5　外来種対策が効果的に実施されているか(S,P,I) ・外来種の現状把握と対策の必要箇所の選定ができているか ・駆除対策・予防的処置の実施をしているか ・外来種問題の啓発が十分に行なわれているか	**●現状把握と尺度化の検討段階**	データは毎年整理公表し，分析と評価は5年ごと	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾		竹	竹	竹	竹	川竹	竹	竹	竹	川竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹

表　進捗点検の視点・指標と基礎案施策との関連表

視点（大項目）	視点(小項目)	指標		具体的な点検対象 ○明朝文字･･･河川管理者の提案事項 **●ゴシック文字(太)･･･流域委員会の提案項目** (※各指標への配置は流域委員会によるもの)	進捗点検の頻度	節	5.1河川整備計画策定・推進	5.2河川環境																				
						項	5.1.1河川整備計画の進捗を点検し見直しを行うための措置	5.1.2情報の共有と公開、学識経験者、住民との連携・協働、自治体・関係省庁との連携		5.2.1河川形状				5.2.2水位	5.2.3水量			5.2.4水質						5.2.5土砂		5.2.6生態系	5.2.7景観		5.2.8生物の生息・生育環境に配慮した工事の施工
						中項目（h17年度点検時）		1．河川レンジャー	2．自治体との連携	1実施と評価．河川環境のモニタリングの	2河川．形状の環境修復）（横断方向の	3河川．形状の環境修復）（縦断方向の	4陸域．河川環境との連続性の確保と修復）	5検討．）河川環境事業（水位操作の	6ダム・堰の適正な運用を検討．）河川環境事業（水量操作	7必要な水量検討）河川環境事業（河川環境上	8ダム等の運用操作を実施．急速な水位低下が生じない	9協議会琵琶湖・淀川流域水質管理案）の検討．琵琶湖の1調査や試験施工について検討．琵琶湖における機能把握	1湖沼の有機堆積物の底層水質及びの状況の把握のための調査．琵琶湖北湖の	2ム）．水質保全対策（既設ダ	1流水路）．河川の水質保全対策（淀	1汽水域、湖水域）．河川の水質保全対策（淀川の	5．土砂管理（既設ダム）	6（砂防施設）．土砂移動の連続性の確保	7保全・再生）．河川環境事業（生育環境	8言る検討．周辺環境との調和に関する河川景観の観点から助	9．景観対策（既設ダム）	20．河川環境事業（生物の環境に配慮した工事の施工）
（1）環境の視点・川と湖沼の自然再生（竹門・西野）	視点5:流域視点による水質対策	指標5-1	水質負荷と環境影響についての流域的な現状把握ができているか(S,P) ・河川水質の目標，監視地点・測定項目・測定方法が検討されているか ・自治体，関係機関，住民・住民団体との連携がされたているか ・重金属、ダイオキシン類等の有害化学物質に関する水質及び底質モニタリングを実施したか	○南湖の再生プロジェクト連携状況 ○セタシジミの確認数(モニタリング調査) ○水質基準の達成状況 ○貯水池水質保全対策の実施状況				川竹	竹	竹				竹	竹	竹		竹	竹	竹	竹	竹	竹			川竹	川		竹
		指標5-2	水質総量規制の制度や対策の計画を立案できているか(P) ・総負荷量管理を図る琵琶湖・淀川流域水質管理協議会（仮称）が設立できたか	○協議会の設立状況				竹	竹	竹								竹	竹	竹	竹	竹	竹			川竹	川		
		指標5-3	流域視点による水質対策を実現しているか(I) ・流入河川と琵琶湖，琵琶湖と宇治川・淀川の連携対策ができているか ・下水排水や汚濁流入支川の流水を本川の流水と分離して流す流水保全水路の整備状況	○南湖の再生プロジェクト連携状況				川	竹	竹								竹			竹				川竹	川竹		
	視点6:流域総合土砂管理の評価	指標6-1	流域の土砂生産・移動・堆積の実態が評価されているか(S) ・流域の土砂生産マップが作成されているか	○土砂管理の検討状況 ○土砂を下流に流せる砂防堰堤の設置状況					竹	竹	竹	竹	竹		竹	竹				竹				竹	竹	竹	竹	竹	竹
		指標6-2	流域に土砂の受け入れ準備ができているか(P) ・過剰土砂ポケットの計画・整備ができているかv	○土砂管理の検討状況					竹		竹	竹	竹		竹	竹				竹				竹	竹	竹	竹	竹	竹
		指標6-3	総合土砂管理の評価方法の確立と実施(P,I) ・各流程の適正土砂移動量，堆積量の尺度化 ・適正土砂移動量，堆積量の実現対策の実施状況	○土砂管理の検討状況 ○土砂を下流に流せる砂防堰堤の設置状況					竹	竹	竹	竹	竹		竹	竹				竹				竹	竹	竹	竹	竹	竹
	視点7:流域的視野の環境影響評価→場合によっては引継ぎ課題として最終章に掲げる	指標7-1	各流域の環境の課題と目標が整理されているか(S) ・環境の課題と目標を整理した環境計画が策定されているか	○河川環境モニタリングの実施状況				竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹
		指標7-2	環境影響評価の項目に流域的な要素を含んでいるか(P) ・期間中に実施された環境影響評価に上下流生態系に対する連続性遮断の影響や下流域への水質環境への影響などが項目として挙げられているか	○河川環境モニタリングの実施状況					竹	竹																		
		指標7-3	環境影響評価に長期的な環境コストを検討しているか(P) ・期間中に実施された環境影響評価に長期的な環境コストが盛り込まれているか	○河川環境モニタリングの実施状況					竹	竹																		
	その他		・環境の整備と保全に関する計画は批准された国際条約に準拠しているかP	**●現状把握と尺度化の検討段階**					竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	竹			竹			川竹	川竹	川竹	川竹		川竹
（2）治水の視点・いかなる洪水に対しても氾濫被害をできるだけ最小化する（綾・宮本）	視点1:堤防決壊に備えての避難体制の整備	指標1-1	ハザードマップ作成の進捗　S	○水害に強いまちづくり協議会実施状況 ○ハザードマップの作成状況 ○まるごとまちごとHMの実施市町村数 ○水防拠点、防災ステーションの整備状況 ○災害対応プログラムの作成状況					竹																				
		指標1-2	災害体験者から災害時の状況を聞き取り及びその情報を発信の進捗　P					川	竹																				
		指標1-3	地下空間の利用者及び管理者への情報伝達体制整備の進捗　P						竹																				
		指標1-4	浸水実績及び想定表示看板設置の進捗　S						竹																				
		指標1-5	災害時要援護者に配慮した避難勧告・指示の発令視点の明確化及び周知体制整備の進捗　P					川	竹																				
		指標1-6	自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制の基盤整備の進捗　S					川	竹																				
		指標1-7	水防団の高齢化に対する支援の進捗　P					川	竹																				
		指標1-8	水防拠点整備の進捗　S						竹																				
	視点2:河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制と分散対策	指標2-1	洪水氾濫時被害軽減のための土地利用規制・誘導施策の進捗　S						竹		竹		竹		竹	竹		竹						竹		竹	竹		
		指標2-2	公共施設の耐水化の進捗　S						竹						竹	竹										竹	竹	竹	
		指標2-3	流域における保水・貯留機能確保の進捗　S						竹		竹		竹		竹	竹		竹								竹	竹	竹	竹
		指標2-4	河川整備計画と都市計画との調整の進捗　S						竹		竹	竹	竹		竹	竹		竹						竹	竹	竹	竹	竹	竹
	視点3:堤防の強化	指標3-1	HWL以下、浸透、洗掘対策実施済み延長　S	○堤防強化対策整備延長																									
		指標3-2	堤防天端以下、浸透、洗掘対策実施済み延長　S																										
		指標3-3	堤防天端舗装実施済み延長　S																										
		指標3-4	堤防裏法補強(シート張、ブロックマット敷設)実施済み延長　S																										
		指標3-5	堤防裏法尻洗掘防止対策実施済み延長　S																										
		指標3-6	スーパー堤防実施済み延長　S																										
		指標3-7	桜堤モデル事業実施済み延長　S																										
		指標3-8	樋門・樋管の改善措置の進捗　S						竹																				
	視点4:河道流下能力の増大	指標4-1	昭和28年13号台風実績降雨、実績降雨×1．2、実績降雨×1．5、実績降雨×2．0における越水及びHWL超過延長の減少　S	○疎通能力の現況 ○整備状況					竹																				
	視点5:土砂移動の制御は適切か	指標5-1	土砂移動の抑制策の実施　S，P	○砂防堰堤及び山腹工の整備進捗状況																									
		指標5-2	土砂移動の促進策の実施　S，P																										
	視点6:事業の進捗によって流域住民の洪水被害(期待値)はどれだけ減少したか．	指標6-1	指標5-1:人命(地震被害では出している。仮定をおけば算出可能)　I						竹																				
		指標6-2	指標5-2:床上浸水戸数(面積)　I						竹																				
		指標6-3	指標5-3:床下浸水戸数(面積)						竹																				
		指標6-4	指標5-4:資産　I						竹																				
	視点7:事業の進捗によって流域住民の高潮被害(期待値)はどれだけ減少したか．	指標7-1	高潮被害軽減策の進捗　S，P	○高潮対策の進捗・検討状況																									
		指標7-2	高潮被害額(期待値)はどれだけ減少したか　I																										
	視点8:事業の進捗により地震への備えの向上や津波被害(期待値)はどれだけ減少したか	指標8-1	地震対策事業および制度の進捗　S，P	○河川管理施設の耐震対策実施状況																									
		指標8-2	地震対策によって被害(期待値)はどれだけ軽減したか																										
		指標8-3	津波対策事業および制度の進捗　S，P	○津波ハザードマップの作成支援状況 ○津波情報提供設備の設置状況																									
		指標8-4	津波被害額(期待値)はどれだけ減少したか　I																										

表　進捗点検の視点・指標と基礎案施策との関連表

視点（大項目）	視点(小項目)	指標	具体的な点検対象 ○明朝文字･･･河川管理者の提案事項 **●ゴシック文字(太)･･･流域委員会の提案項目** (※各指標への配置は流域委員会によるもの)	進捗点検の頻度	5.3治水・防災												5.4利水	5.5利用				5.6維持管理			5.7ダム						5.8関連施策
					5.3.1洪水							5.3.2高潮	5.3.3地震・津波					5.5.1水面	5.5.2河川敷	5.5.3舟運					5.7.1既設ダム	5.7.2各ダムの調査検討内容					5.8.1淀川河川公園
					1．治水事業〔洪水対策〕	2．治水事業〔高規格堤防事業〕	3．治水事業〔堤防補強〕	4．治水事業（堤防補強：琵琶湖後期放流影響区間）	5．治水事業（狭窄部上流の浸水対策）	6．治水事業（琵琶湖沿岸の浸被害の軽減）	7．治水事業〔一連区間整備〕	8．治水事業〔高潮対策〕	9．治水事業〔地震等総合的防災対策〕	10．治水事業〔河川管理施設の耐震対策〕	11．治水事業〔津波対策〕	12．治水事業〔土砂対策〕	1．利水事業	1．利用関係事業（水面）	2．利用関係事業（河川敷利用）	3．利用関係事業（舟運）	4．利用関係事業（漁業）	1．維持管理（河川管理施設の機能保持）	2．維持管理（許可工作物の管理）	3．維持管理（河川区域の管理）	1．ダム事業（既設ダム）	2．大戸川ダム建設事業	3．天ヶ瀬ダム再開発事業	4．川上ダム事業	5．丹生ダム建設事業	6．余野川ダム建設事業	1．関連施策（公園事業）
（1）環境の視点・川と湖沼の自然再生（竹門・西野）	視点5:流域視点による水質対策	指標5-1　水質負荷と環境影響についての流域的な現状把握ができているか(S,P) ・河川水質の目標，監視地点・測定項目・測定方法が検討されているか ・自治体，関係機関，住民・住民団体との連携がされたているか ・重金属、ダイオキシン類等の有害化学物質に関する水質及び底質モニタリングを実施したか	○南湖の再生プロジェクト連携状況 ○セタシジミの確認数(モニタリング調査) ○水質基準の達成状況 ○貯水池水質保全対策の実施状況														竹	竹			竹				川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	
		指標5-2　水質総量規制の制度や対策の計画を立案できているか(P) ・総負荷量管理を図る琵琶湖・淀川流域水質管理協議会（仮称）が設立できたか	○協議会の設立状況														竹	竹			竹				竹	竹	竹	竹	竹	竹	
		指標5-3　流域視点による水質対策を実現しているか(I) ・流入河川と琵琶湖，琵琶湖と宇治川・淀川の連携対策ができているか ・下水排水や汚濁流入支川の流水を本川の流水と分離して流す流水保全水路の整備状況	○南湖の再生プロジェクト連携状況		竹						竹					竹	竹	竹			竹	竹	竹	竹	川						竹
	視点6:流域総合土砂管理の評価	指標6-1　流域の土砂生産・移動・堆積の実態が評価されているか(S) ・流域の土砂生産マップが作成されているか	○土砂管理の検討状況 ○土砂を下流に流せる砂防堰堤の設置状況		竹				竹		竹					綾竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	竹
		指標6-2　流域に土砂の受け入れ準備ができているか(P) ・過剰土砂ポケットの計画・整備ができているかv	○土砂管理の検討状況		竹	竹	竹	竹	竹		竹					綾竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹
		指標6-3　総合土砂管理の評価方法の確立と実施(P,I) ・各流程の適正土砂移動量，堆積量の尺度化 ・適正土砂移動量，堆積量の実現対策の実施状況	○土砂管理の検討状況 ○土砂を下流に流せる砂防堰堤の設置状況		竹	竹	竹	竹	竹		竹					綾竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	竹
	視点7:流域的視野の環境影響評価→場合によっては引継ぎ課題として最終章に掲げる	指標7-1　各流域の環境の課題と目標が整理されているか(S) ・環境の課題と目標を整理した環境計画が策定されているか	○河川環境モニタリングの実施状況		竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	川竹	竹	竹	竹	竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	竹
		指標7-2　環境影響評価の項目に流域的な要素を含んでいるか(P) ・期間中に実施された環境影響評価に上下流生態系に対する連続性遮断の影響や下流域への水質環境への影響などが項目として挙げられているか	○河川環境モニタリングの実施状況		竹												竹			川					川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	
		指標7-3　環境影響評価に長期的な環境コストを検討しているか(P) ・期間中に実施された環境影響評価に長期的な環境コストが盛り込まれているか	○河川環境モニタリングの実施状況		竹												竹			川					川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	
	その他	・環境の整備と保全に関する計画は批准された国際条約に準拠しているかP	**●現状把握と尺度化の検討段階**		川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	川竹	竹
（2）治水の視点・いかなる洪水に対しても氾濫被害をできるだけ最小化する（綾・宮本）	視点1:堤防決壊に備えての避難体制の整備	指標1-1　ハザードマップ作成の進捗　S	○水害に強いまちづくり協議会実施状況 ○ハザードマップの作成状況 ○まるごとまちごとHMの実施市町村数 ○水防拠点、防災ステーションの整備状況 ○災害対応プログラムの作成状況		綾竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹																竹
		指標1-2　災害体験者から災害時の状況を聞き取り及びその情報を発信の進捗　P			綾竹	竹	竹	竹			竹	竹			竹																
		指標1-3　地下空間の利用者及び管理者への情報伝達体制整備の進捗　P			綾竹	竹	竹	竹				竹			竹																
		指標1-4　浸水実績及び想定表示看板設置の進捗　S			綾竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹			竹																
		指標1-5　災害時要援護者に配慮した避難勧告・指示の発令視点の明確化及び周知体制整備の進捗　P			綾竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹															竹
		指標1-6　自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制の基盤整備の進捗　S			綾竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹		竹	竹	竹	竹										
		指標1-7　水防団の高齢化に対する支援の進捗　P			綾竹													竹	竹	竹	竹										
		指標1-8　水防拠点整備の進捗　S			綾竹													竹	竹	竹	竹										竹
	視点2:河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制と分散対策	指標2-1　洪水氾濫時被害軽減のための土地利用規制・誘導施策の進捗　S			綾竹												竹														竹
		指標2-2　公共施設の耐水化の進捗　S			綾竹												竹					竹	竹	竹							
		指標2-3　流域における保水・貯留機能確保の進捗　S			綾竹												竹					竹	竹	竹							竹
		指標2-4　河川整備計画と都市計画との調整の進捗　S			綾竹												竹					竹	竹	竹							
	視点3:堤防の強化	指標3-1　HWL以下、浸透、洗掘対策実施済み延長　S	○堤防強化対策整備延長		竹		綾	綾		綾	綾																				
		指標3-2　堤防天端以下、浸透、洗掘対策実施済み延長　S			竹		綾	綾		綾	綾																				
		指標3-3　堤防天端舗装実施済み延長　S			竹		綾	綾		綾	綾																				
		指標3-4　堤防裏法補強(シート張、ブロックマット敷設)実施済み延長　S			竹		綾	綾		綾	綾																				
		指標3-5　堤防裏法尻洗掘防止対策実施済み延長　S			竹		綾	綾		綾	綾																				
		指標3-6　スーパー堤防実施済み延長　S			竹	綾				綾	綾																				竹
		指標3-7　桜堤モデル事業実施済み延長　S			竹		綾	綾		綾	綾																				竹
		指標3-8　樋門・樋管の改善措置の進捗　S			竹		綾	綾		綾	綾																				
	視点4:河道流下能力の増大	指標4-1　昭和28年13号台風実績降雨、実績降雨×1．2、実績降雨×1．5、実績降雨×2．0における越水及びHWL超過延長の減少　S	○疎通能力の現況 ○整備状況		竹	綾	綾	綾	綾	綾	綾																				
	視点5:土砂移動の制御は適切か	指標5-1　土砂移動の抑制策の実施　S，P	○砂防堰堤及び山腹工の整備進捗状況													綾															
		指標5-2　土砂移動の促進策の実施　S，P														綾															
	視点6:事業の進捗によって流域住民の洪水被害(期待値)はどれだけ減少したか.	指標6-1　指標5-1:人命(地震被害では出している。仮定をおけば算出可能)　I			綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾																
		指標6-2　指標5-2:床上浸水戸数(面積)　I			綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾																
		指標6-3　指標5-3:床下浸水戸数(面積)			綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾																
		指標6-4　指標5-4:資産　I			綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾	綾																
	視点7:事業の進捗によって流域住民の高潮被害(期待値)はどれだけ減少したか.	指標7-1　高潮被害軽減策の進捗　S，P	○高潮対策の進捗・検討状況									綾																			
		指標7-2　高潮被害額(期待値)はどれだけ減少したか　I										綾																			
	視点8:事業の進捗により地震への備えの向上や津波被害(期待値)はどれだけ減少したか	指標8-1　地震対策事業および制度の進捗　S，P	○河川管理施設の耐震対策実施状況		竹		綾	綾		綾	綾		綾	綾																	
		指標8-2　地震対策によって被害(期待値)はどれだけ軽減したか											綾	綾																	
		指標8-3　津波対策事業および制度の進捗　S，P	○津波ハザードマップの作成支援状況 ○津波情報提供設備の設置状況												綾																
		指標8-4　津波被害額(期待値)はどれだけ減少したか　I													綾																

表　進捗点検の視点・指標と基礎案施策との関連表

視点（大項目）	視点(小項目)	指標	具体的な点検対象 ○明朝文字･･･河川管理者の提案事項 **●ゴシック文字(太)･･･流域委員会の提案項目** (※各指標への配置は流域委員会によるもの)	進捗点検の頻度	節	5.1河川整備計画策定・推進	5.2河川環境																				
					項	5.1.1河川整備計画の進捗を点検し見直しを行うための措置	5.1.2情報の共有と公開、学識経験者、住民との連携・協働、自治体・関係省庁との連携		5.2.1河川形状				5.2.2水位	5.2.3水量			5.2.4水質						5.2.5土砂		5.2.6生態系	5.2.7景観		5.2.8生物の生息・生育環境に配慮した工事の施工
					中項目（h17年度点検時）		1．河川レンジャー	2．自治体との連携	1．河川環境のモニタリングの実施と評価	2．河川・河川環境事業（横断方向の形状の修復）	3．河川・河川環境事業（縦断方向の形状の修復）	4．河川環境事業（湖と河川や陸域との連続性の確保と修復）	5．河川環境事業（水位操作の検討）	6．河川環境事業（水量操作（ダム・堰の適正な運用を検討））	7．河川環境事業（河川環境上必要な水量検討）	8．急速な水位低下が生じないダム等の運用操作を実施	9．琵琶湖・淀川流域水質管理協議会（琵琶湖・淀川流域水質管理会議）の検討	1．琵琶湖北湖の底層水質の調査や試験施工における機能把握	1．琵琶湖北湖の底層水質の調査	1．琵琶湖の有機物の状況の把握及びヨシ帯・湖岸堤の調査	2．水質保全対策（既設ダム）	1．河川の水質保全対策（淀川流域水保全水路）	1．河川の水質保全対策（淀川の汽水域、湖水域）	1．土砂管理（既設ダム）	6．砂防・土砂移動の連続性の確保（砂防施設）	1．河川環境事業（生育環境の保全・再生）	7．河川環境事業（生育環境の保全・再生）	8．検討、周辺環境との調和に関する河川景観の観点から助言	9．景観対策（既設ダム）	2．河川環境に配慮した工事の施工
延（3）利水の視点・利水と河川環境の調和（千代（4）利用の視点・川に活かされた利用（川上）	視点1：水需要管理の推進	指標1-1　渇水対策会議の機能拡大、常設化の進捗　P ・ 渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化（利水者会議）について、実現への具体的準備は進んでいるか ・ 渇水時の取水制限及び河川維持流量削減（開始時期及び削減率）の合意づくりの仕組みはできているか ・ 渇水時の水融通（期間、数量、水価格等）の調整の仕組みづくりは進んでいるか	○利水者会議の設置、運用状況 ○水利権許可の結果公表 ○節水キャンペーン実施状況 ○最適な渇水対策容量の確保手法の検討状況 **●利水者会議の設置、運用状況**				千					千	千	千													
		指標1-2　水需要抑制の進捗 ・ 利水者の水需要抑制の取組みの現状を把握しているか ・ 水需要の具体的施策（節水、再利用、雨水利用等）の準備は進んでいるか	**●節水キャンペーン実施状況**				千																				
		指標1-3　水需要の精査の進捗 ・ 水需要の精査の結果（水利権更新時の情報）開示は進んでいるか	**●水利権許可の結果公表**				千																				
		指標1-4　水利権の見直し、転用の進捗 ・水利権の見直しと転用のためのルール作りは進んでいるか					千																				
		指標1-5　既存水源開発施設の再編と運用の見直し進捗 ・既存水源開発施設の再編と運用の見直しにより効果をあげうる事案の調査検討が進んでいるか	**●既設ダムの再編、運用等の検討**				千					千															
		指標1-6　農業用水に関し、慣行水利権の許可水利権化の進捗																									
	視点2：渇水対策の確立	指標2-1　渇水対策容量の必要性と確保手法の検討 ・渇水の程度と利水上の問題点を把握しているか ・利水者の採っている渇水対策の現状を把握しているか	○利水者会議の設置、運用状況 ○最適な渇水対策容量の確保手法の検討状況 **●最適な渇水対策容量の確保手法の検討状況**				千																				
	視点1：「川でなければできない利用、川に活かされた利用」の実現　P I ・河川管理者と利用者が「河川生態系と共生する利用」を実現するための情報を共有し、意思疎通を図ったか		○住民参加プログラムの作成状況 ○住民、住民団体との交流回数 ○レンジャー活動数、参加人数 ○子供を対象とした環境教育等の実施回数、子供の参加人数 ○HP、携帯サイトへのアクセス数 ○航路確保の状況 ○通航方法の策定状況 ○「川の駅」整備状況 ○不法係留対策の状況 ○川を安全に利用するための啓発活動状況 ○レンジャー活動数、参加人数 ○違法行為の是正状況				川	川	川								竹								川	川		
	視点2：陸域・水陸移行帯・水域の秩序ある利用に向けて誘導または規制に取り組んだか P		○小径（散策路）の整備延長 ○ゴミ投棄防止の啓発・美化活動での関係行政機関との連携状況																								
	視点3：陸域・水陸移行帯・水域の特性に配慮したかP																					竹	竹	竹	竹	竹	
	視点4：「本来河川敷以外で利用する施設」の縮小に取り組んだか P		○不法耕作改善面積 ○住民、住民団体との交流回数 ○小径（散策路）の整備延長 ○干潟の整備（モニタリング調査） ○違法行為の是正状況 ○ホームレス対応状況					川																			
	視点5：環境学習など「川に活かされた利用」の推進に取り組んだかP		○住民参加プログラムの作成状況 ○住民、住民団体との交流回数 ○レンジャー活動数、参加人数 ○子供を対象とした環境教育等の実施回数、子供の参加人数 ○HP、携帯サイトへのアクセス数				川	川	竹															川	川		
的な管理（中村・竹門・水野）複眼的で総合（5）統合的流域管理の視点・	視点1：治水・利水・環境の事業間で相互関係性が検討され示されているか	指標1-1　相互補完する関係が各事業内容に考慮されているか	○水源地域ビジョン策定とその後の活動状況 ○上下流交流実施状況 ○河川管理者以外の者が管理する施設への働きかけの状況 ○河川環境の保全再生に関する職員研修開催数				竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹
		指標1-2　協働する関係が各事業内容に考慮されているか	○水源地域ビジョン策定とその後の活動状況 ○交流実施状況 ○河川管理者以外の者が管理する施設への働きかけの状況 ○河川環境の保全再生に関する職員研修開催数				川	竹	川	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	川	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	川	川	竹	竹
		指標1-3　競合する関係が各事業内容に考慮されているか	○水源地域ビジョン策定とその後の活動状況 ○交流実施状況 ○河川改修工事における環境配慮実施状況					竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹
	視点2：PDCAサイクルの実現	指標2-1　事業全体のロードマップが適切に示されているか ・事業の順序は適切か（空間的順序性，時間的順序性，緊急性等優先基準）	○河川管理者以外の者が管理する施設への働きかけの状況 ○河川環境の保全再生に関する職員研修開催数				竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹		竹			竹		竹	竹	竹	竹	竹		
		指標2-2　指標2-2：PDCAサイクルの小輪から中輪への接続戦略の有無・適否	**●現状把握と尺度化の検討段階**				岡	岡	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹		竹			竹		竹	竹	竹	竹	竹		

表　進捗点検の視点・指標と基礎案施策との関連表

視点（大項目）	視点(小項目)	指標	具体的な点検対象 ○明朝文字･･･河川管理者の提案事項 **●ゴシック文字(太)･･･流域委員会の提案項目** (※各指標への配置は流域委員会によるもの)	進捗点検の頻度	5.3治水・防災												5.4利水	5.5利用				5.6維持管理			5.7ダム						5.8関連施策
					5.3.1洪水							5.3.2高潮	5.3.3地震・津波					5.5.1水面	5.5.2河川敷	5.5.3舟運					5.7.1既設ダム	5.7.2各ダムの調査検討内容					5.8.1淀川河川公園
					1．治水事業〔洪水対策〕	2．治水事業〔高規格堤防事業〕	3．治水事業〔堤防補強〕	4．治水事業（堤防補強：琵琶湖後期放流影響区間）	5．治水事業（狭窄部上流の浸水対策）	6．治水事業（琵琶湖沿岸の浸被害の軽減）	7．治水事業〔一連区間整備〕	8．治水事業〔高潮対策〕	9．治水事業〔地震等総合的防災対策〕	10．治水事業〔河川管理施設の耐震対策〕	11．治水事業〔津波対策〕	12．治水事業〔土砂対策〕	1．利水事業	1．利用関係事業（水面）	2．利用関係事業（河川敷利用）	3．利用関係事業（舟運）	4．利用関係事業（漁業）	1．維持管理（河川管理施設の機能保持）	2．維持管理（許可工作物の管理）	3．維持管理（河川区域の管理）	1．ダム事業（既設ダム）	2．大戸川ダム建設事業	3．天ヶ瀬ダム再開発事業	4．川上ダム事業	5．丹生ダム建設事業	6．余野川ダム建設事業	1．関連施策（公園事業）
延（3）利水の視点・利水と河川環境の調和（千代	視点1：水需要管理の推進	指標1-1　渇水対策会議の機能拡大、常設化の進捗　P ・渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化（利水者会議）について、実現への具体的準備は進んでいるか ・渇水時の取水制限及び河川維持流量削減（開始時期及び削減率）の合意づくりの仕組みはできているか ・渇水時の水融通（期間、数量、水価格等）の調整の仕組みづくりは進んでいるか	○利水者会議の設置、運用状況 ○水利権許可の結果公表 ○節水キャンペーン実施状況 ○最適な渇水対策容量の確保手法の検討状況 **●利水者会議の設置、運用状況**														千								千		千	千	千		
		指標1-2　水需要抑制の進捗 ・利水者の水需要抑制の取組みの現状を把握しているか ・水需要の具体的施策（節水、再利用、雨水利用等）の準備は進んでいるか	**●節水キャンペーン実施状況**														千														
		指標1-3　水需要の精査の進捗 ・水需要の精査の結果（水利権更新時の情報）開示は進んでいるか	**●水利権許可の結果公表**														千										千	千			
		指標1-4　水利権の見直し、転用の進捗 ・水利権の見直しと転用のためのルール作りは進んでいるか															千											千			
		指標1-5　既存水源開発施設の再編と運用の見直し進捗 ・既存水源開発施設の再編と運用の見直しにより効果をあげうる事案の調査検討が進んでいるか	**●既設ダムの再編、運用等の検討**														千								千		千				
		指標1-6　農業用水に関し、慣行水利権の許可水利権化の進捗															千														
	視点2：渇水対策の確立	指標2-1　渇水対策容量の必要性と確保手法の検討 ・渇水の程度と利水上の問題点を把握しているか ・利水者の採っている渇水対策の現状を把握しているか	○利水者会議の設置、運用状況 ○最適な渇水対策容量の確保手法の検討状況 **●最適な渇水対策容量の確保手法の検討状況**														千														
（4）利用の視点・川に活かされた利用（川上）	視点1：「川でなければできない利用、川に活かされた利用」の実現　P I ・河川管理者と利用者が「河川生態系と共生する利用」を実現するための情報を共有し、意思疎通を図ったか		○住民参加プログラムの作成状況 ○住民、住民団体との交流回数 ○レンジャー活動数、参加人数 ○子供を対象とした環境教育等の実施回数、子供の参加人数 ○HP、携帯サイトへのアクセス数 ○航路確保の状況 ○通航方法の策定状況 ○「川の駅」整備状況 ○不法係留対策の状況 ○川を安全に利用するための啓発活動状況 ○レンジャー活動数、参加人数 ○違法行為の是正状況														竹	川	川												川
	視点2：陸域・水陸移行帯・水域の秩序ある利用に向けて誘導または規制に取り組んだか P		○小径（散策路）の整備延長 ○ゴミ投棄防止の啓発・美化活動での関係行政機関との連携状況															川	川												川
	視点3：陸域・水陸移行帯・水域の特性に配慮したかP																	川	川												川
	視点4：「本来河川敷以外で利用する施設」の縮小に取り組んだか P		○不法耕作改善面積 ○住民、住民団体との交流回数 ○小径（散策路）の整備延長 ○干潟の整備（モニタリング調査） ○違法行為の是正状況 ○ホームレス対応状況															川	川												川
	視点5：環境学習など「川に活かされた利用」の推進に取り組んだかP		○住民参加プログラムの作成状況 ○住民、住民団体との交流回数 ○レンジャー活動数、参加人数 ○子供を対象とした環境教育等の実施回数、子供の参加人数 ○HP、携帯サイトへのアクセス数															川	川												川
（5）統合的流域管理の視点・複眼的で総合的な管理（中村・竹門・水野）	視点1：治水・利水・環境の事業間で相互関係性が検討され示されているか	指標1-1　相互補完する関係が各事業内容に考慮されているか	○水源地域ビジョン策定とその後の活動状況 ○上下流交流実施状況 ○河川管理者以外の者が管理する施設への働きかけの状況 ○河川環境の保全再生に関する職員研修開催数		竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	川	川	川	竹	竹	竹	竹	川	川	川	川	川	川	竹
		指標1-2　協働する関係が各事業内容に考慮されているか	○水源地域ビジョン策定とその後の活動状況 ○交流実施状況 ○河川管理者以外の者が管理する施設への働きかけの状況 ○河川環境の保全再生に関する職員研修開催数		竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	川	川	川	竹	竹	竹	竹	川	川	川	川	川	川	竹
		指標1-3　競合する関係が各事業内容に考慮されているか	○水源地域ビジョン策定とその後の活動状況 ○交流実施状況 ○河川改修工事における環境配慮実施状況		竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	竹	川	川	川	竹	竹	竹	竹	川	川	川	川	川	川	竹
	視点2：PDCAサイクルの実現	指標2-1　事業全体のロードマップが適切に示されているか ・事業の順序は適切か（空間的順序性，時間的順序性，緊急性等優先基準）	○河川管理者以外の者が管理する施設への働きかけの状況 ○河川環境の保全再生に関する職員研修開催数		竹								竹			竹	竹	川	川	川	竹				川	川	川	川	川	川	竹
		指標2-2　指標2-2：PDCAサイクルの小輪から中輪への接続戦略の有無・適否	**●現状把握と尺度化の検討段階**		竹								竹			竹	竹	川	川	川	竹				岡川	岡川	岡川	岡川	岡川	岡川	竹

表　進捗点検の視点・指標と基礎案施策との関連表

視点（大項目）	視点(小項目)	指標	具体的な点検対象 ○明朝文字･･･河川管理者の提案事項 ●ゴシック文字(太)･･･流域委員会の提案項目 (※各指標への配置は流域委員会によるもの)	進捗点検の頻度	節	5.1河川整備計画策定・推進	5.2河川環境																					
					項	5.1.1河川整備計画の進捗を点検し見直しを行うための措置	5.1.2情報の共有と公開、学識経験者、住民との連携・協働、自治体・関係省庁との連携		5.2.1河川形状				5.2.2水位	5.2.3水量			5.2.4水質						5.2.5土砂		5.2.6生態系	5.2.7景観		5.2.8生物の生息・生育環境に配慮した工事の施工
					中項目（h17年度点検時）		1．河川レンジャー	2．自治体との連携	1．河川環境のモニタリングの実施と評価	2．河川形状の河川環境事業の修復（横断方向の	3．河川形状の河川環境事業の修復（縦断方向の	4．河川環境事業の陸域との連続性の確保と修復）	5．河川環境事業の検討）	6．河川環境事業の検討（ダム・堰の適正な運用を検	7．必要な水量の河川環境事業の検討）	8．ダム等の急速な水位低下が生じない運用操作を実施	9．琵琶湖・淀川流域水質管理協議会の検討（案）	1．琵琶湖北湖の底層水質の調査や琵琶湖における機能把握試験施工について検討	1．琵琶湖北湖の有機堆積物の状況の把握の調査	1．2．水質保全対策（既設ダム）	1．3．河川の水質保全対策（淀川流水路）	1．4．河川の水質保全対策（淀川の汽水域、港水域）	1．5．土砂管理（既設ダム）	1．6．土砂移動の連続性の確保（砂防、土砂施設）	1．7．河川環境事業（生育環境の保全・再生）	1．8．周辺環境との調和に関する検討、河川景観の観点から助言	1．9．景観対策（既設ダム）	2．0．河川環境事業（生物の環境に配慮した工事の施工）
（6）主体参加の視点：プロセスを共有する（川上・水野）	視点1：情報は適切に提供(公開)されたか	指標1-1　あらゆる情報を公開したかP	●公開情報項目のリストアップ				岡川	岡																				
		指標1-2　情報公開の方法は適切だったかP					岡川	岡																				
		1-2-1情報を住民にわかりやすく公開したかP					岡川	岡																				
		1-2-2情報公開に多様な方法を検討し、活用したかP					岡川	岡																				
		1-2-3情報公開の時期は適切だったかP					岡川	岡																				
		指標1-3　情報公開についての職員の意識を点検したかP					岡川	岡																				
	視点2：説明責任(アカウンタビリティ)を果たしたかP						岡川	岡																				
	視点3：意見聴取は適切に行われたか	指標3-1　意見聴取の手法の開発に真摯に取り組んだかP					岡川	岡																				
		指標3-2　意見聴取の対象を限定しなかったかP					岡川	岡																				
		指標3-3　意見聴取の対象として流域住民の視点はあったかP					岡川	岡																				
		指標3-4　サイレントマジョリティからの意見抽出方法の開発に取り組んだかP					岡川	岡																				
		指標3-5　意見聴取のための広報は適切であったかP					岡川	岡																				
	視点4：聴取した意見は適切に計画や事業に反映されたか Ⅰ						岡川	岡																				
	視点5：意見を反映しなかった理由を住民に説明したかP						岡川	岡																				
	視点6：意見聴取の方法と結果を事後評価したかP						岡川	岡																				
	視点7：意見聴取・反映により住民との信頼関係は構築できたかP	指標7-1　河川の理想像・将来像を共有できているか					岡川	岡																				
		指標7-2　問題や課題についての認識を共有しているか					岡川	岡	川																			
	視点8：計画は住民の視点に立って立案したかP	指標8-1　利害対立は調整できたか					岡川	岡																				
		指標8-2　計画は住民の考えや願いとずれていないか					岡川	岡																				
	視点9：「住民参加推進プログラム」の策定に取り組んだかP		○住民参加推進プログラムの作成、実践状況				岡川	岡									川											
	視点10：住民参加の社会実験としての「河川レンジャー」は進捗したかP	指標10-1　公募、選任は適正に行われているか	○河川レンジャー活動数、参加人数				川																					
		指標10-2　河川管理者のレンジャーへの対応は中立性が保たれているか					川																					
		指標10-3　住民・行政との相互学習の場となっているか	○住民、住民団体との交流回数				川																					
	視点11：諸委員会・協議会等への住民参加(・連携)は進んでいるかP						川										川							川	川			
	S視点12：住民参加のボトルネックの見極めと対策	指標12-1　住民の無関心、無関係意識					川										川							川	川			
		指標12-2　住民は無知、行政は無謬という意識					川										川							川	川			
		指標12-3　行政の住民を受け入れる体制の未整備					川										川							川	川			
		指標12-4　行政、関係機関、事業の人員的・時間的・予算などの余裕の不足					川										川							川	川			
		指標12-5　情報提供の不足、情報共有の欠如	○淀川に関する日頃の情報発信の促進状況 ○HP、携帯サイトへのアクセス状況				川										川							川	川			
		指標12-6　参加・協働の技術の不足(参加のデザインの未熟)					川										川							川	川			
		指標12-7　対話の場やしくみ(空間・ソフト・ハード・コーディネータなど)の欠如					川										川							川	川			
		指標12-8　参加・協働のしくみ、ルールの不在					川										川							川	川			
7)その他	長期にわたる大規模な公共事業計画の社会的条件の変化による見直しや中止のための法整備、しくみづくりに取り組んだかP					川																						

表　進捗点検の視点・指標と基礎案施策との関連表

視点（大項目）	視点(小項目)	指　　標	具体的な点検対象	進捗点検の頻度	5.3治水・防災													5.4利水	5.5利用				5.6維持管理			5.7ダム						5.8関連施策
					5.3.1洪水							5.3.2高潮	5.3.3地震・津波													5.7.1既設ダム	5.7.2各ダムの調査検討内容					5.8.1淀川河川公園
			○明朝文字･･･河川管理者の提案事項 **●ゴシック文字(太)･･･流域委員会の提案項目** (※各指標への配置は流域委員会によるもの)		1．治水事業〔洪水対策〕	2．治水事業〔高規格堤防事業〕	3．治水事業〔堤防補強〕	4．治水事業（堤防補強：琵琶湖後期放流影響区間）	5．治水事業（狭窄部上流の浸水対策）	6．治水事業（琵琶湖沿岸の浸水被害の軽減）	7．治水事業〔一連区間整備〕	8．治水事業〔高潮対策〕	9．治水事業〔地震等総合的防災対策〕	10．治水事業〔河川管理施設の耐震対策〕	11．治水事業〔津波対策〕	12．治水事業〔土砂対策〕	1．利水事業	1．利用関係事業（水面）	2．利用関係事業（河川敷利用）	3．利用関係事業（舟運）	4．利用関係事業（漁業）	1．維持管理（河川管理施設の機能保持）	2．維持管理（許可工作物の管理）	3．維持管理（河川区域の管理）	1．ダム事業（既設ダム）	2．大戸川ダム建設事業	3．天ヶ瀬ダム再開発事業	4．川上ダム事業	5．丹生ダム建設事業	6．余野川ダム建設事業	1．関連施策（公園事業）
（6）主体参加の視点：プロセスを共有する（川上・水野）	視点1：情報は適切に提供（公開）されたか	指標1-1　あらゆる情報を公開したかP	**●公開情報項目のリストアップ**														川	川	川					川	川	川	川	川	川	川
		指標1-2　情報公開の方法は適切だったかP															川	川	川					川	川	川	川	川	川	川
		1-2-1情報を住民にわかりやすく公開したかP															川	川	川					川	川	川	川	川	川	川
		1-2-2情報公開に多様な方法を検討し、活用したかP															川	川	川					川	川	川	川	川	川	川
		1-2-3情報公開の時期は適切だったかP															川	川	川					川	川	川	川	川	川	川
		指標1-3　情報公開についての職員の意識を点検したかP															川	川	川					川	川	川	川	川	川	川
	視点2：説明責任（アカウンタビリティ）を果たしたかP																川	川	川					川	川	川	川	川	川	川
	視点3：意見聴取は適切に行われたか	指標3-1　意見聴取の手法の開発に真摯に取り組んだかP															川	川	川					川	川	川	川	川	川	川
		指標3-2　意見聴取の対象を限定しなかったかP															川	川	川					川	川	川	川	川	川	川
		指標3-3　意見聴取の対象として流域住民の視点はあったかP															川	川	川					川	川	川	川	川	川	川
		指標3-4　サイレントマジョリティからの意見抽出方法の開発に取り組んだかP															川	川	川					川	川	川	川	川	川	川
		指標3-5　意見聴取のための広報は適切であったかP															川	川	川					川	川	川	川	川	川	川
	視点4：聴取した意見は適切に計画や事業に反映されたか　I																川	川	川					川	川	川	川	川	川	川
	視点5：意見を反映しなかった理由を住民に説明したかP																川	川	川					川	川	川	川	川	川	川
	視点6：意見聴取の方法と結果を事後評価したかP																川	川	川					川	川	川	川	川	川	川
	視点7：意見聴取・反映により住民との信頼関係は構築できたかI	指標7-1　河川の理想像・将来像を共有できているか															川	川	川					川	川	川	川	川	川	川
		指標7-2　問題や課題についての認識を共有しているか															川	川	川					川	川	川	川	川	川	川
	視点8：計画は住民の視点に立って立案したかP	指標8-1　利害対立は調整できたか															川	川	川					川	川	川	川	川	川	川
		指標8-2　計画は住民の考えや願いとずれていないか															川	川	川					川	川	川	川	川	川	川
	視点9：「住民参加推進プログラム」の策定に取り組んだかP		○住民参加推進プログラムの作成、実践状況														川	川						川	川	川	川	川	川	川
	視点10：住民参加の社会実験としての「河川レンジャー」は進捗したかP	指標10-1　公募、選任は適正に行われているか	○河川レンジャー活動数、参加人数																											
		指標10-2　河川管理者のレンジャーへの対応は中立性が保たれているか																												
		指標10-3　住民・行政との相互学習の場となっているか	○住民、住民団体との交流回数																											
	視点11：諸委員会・協議会等への住民参加(・連携)は進んでいるかP																川	川						川	川	川	川	川	川	川
	S視点12：住民参加のボトルネックの見極めと対策	指標12-1　住民の無関心、無関係意識															川	川						川	川	川	川	川	川	川
		指標12-2　住民は無知、行政は無謬という意識															川	川						川	川	川	川	川	川	川
		指標12-3　行政の住民を受け入れる体制の未整備															川	川						川	川	川	川	川	川	川
		指標12-4　行政、関係機関、事業の人員的・時間的・予算などの余裕の不足															川	川						川	川	川	川	川	川	川
		指標12-5　情報提供の不足、情報共有の欠如	○淀川に関する日頃の情報発信の促進状況 ○HP、携帯サイトへのアクセス状況														川	川						川	川	川	川	川	川	川
		指標12-6　参加・協働の技術の不足（参加のデザインの未熟）															川	川						川	川	川	川	川	川	川
		指標12-7　対話の場やしくみ（空間・ソフト・ハード・コーディネータなど）の欠如															川	川						川	川	川	川	川	川	川
		指標12-8　参加・協働のしくみ、ルールの不在															川	川						川	川	川	川	川	川	川
7）その他	長期にわたる大規模な公共事業計画の社会的条件の変化による見直しや中止のための法整備、しくみづくりに取り組んだかP					川										川								川	川	川	川	川	川	